

令和2年度 SSH特別講演会

「思うは招く～ 夢があればなんでもできる～」

株式会社植松電機 代表取締役社長 植松 努 氏

6月13日(土)、3年生を対象にSSH特別講演会が開催されました。講師は、本校SSH運営指導委員の株式会社植松電機代表取締役社長 植松 努さん。講演会のテーマは「思うは招く～夢があればなんでもできる～」です。

本来であれば、オープンスクールとして、全校生徒、そして、中学生や地域の方々にも参加いただき、盛大に開催予定でしたが、今回は密集を避け、三年生だけの講演会になりました。これまで、何度もお話をお聞きする機会がありましたが、植松さんのお話は、何度でも聞きたいお話です。大人が安易に言う「安定」とは、人口が増加していた昭和の昔の話／もう10年前の「普通」や「常識」は通用しない／すべての人にすごい可能性がある／好きなことは「仲間をふやす」「力をふやす」「可能性をふやす」／言葉で人の可能性を奪うことは殺人と同じ／「どうせ無理」は、自信と可能性を奪う最悪の言葉、「どうせ無理ではなく」…「だったらこうしてみたら」と声をかけよう。／みんなは知恵と工夫で世界を救うために生まれてきたんです／ こうした植松さんの言葉に、勇気や元気が湧いてきます。

講演後、生徒たちから次々に質問があがり、そして、その質問の一つ一つに全力で答えてくださる植松さん。感激です！さらに直接話したいという生徒のために、約一時間半近い座談会に、応じてくださいました。本当に、本当にありがとうございました。植松さんの話を聞く生徒たちの瞳がキラキラ輝いていました！！



株式会社植松電機 代表取締役社長 植松 努 氏



思うは招く ～ 夢があればなんでもできる ～





講演後、活発な質疑応答が繰り広げられました。



3年生理数科（田村圭さん）による謝辞



講演後の放課後 校長室で行われた座談会



約1時間半におよんだ座談会終了後、残っていた生徒たちと植松さんを囲んで集合写真

感想文01

「どーせむり」、自分も何回も使ったことのある言葉でした。その言葉がもたらす意味をよく考えず使っていました。人の可能性を簡単に潰してしまう言葉だということ、更にはその改善方法も知ることができ、良かったです。今まで自分は、中途半端になるぐらいなら、やらない方がましだと思っていましたが、植松さんは、何もできないより、少しでもできる方が良いと言っていて、とても参考になりました。

勉強する意味について、大人からは「将来のため」などと、抽象的なことを言われてきて、いまいち勉強する意味が分かりませんでした。植松さんは実体験をもとに、「死に至らない失敗を安全に経験させるためのもの」と言っており、自分の考え方が一気に変わりました（パラダイムシフト&エポックメイキング!?!）。今まで、失敗はマイナスだと思って生きてきましたが、これからの世界を変えていくためには、「やったことのないことをやる人」、「諦めない人」、「工夫する人」が増えればよいのだと分かりました。今、自信のない人は、なにか初めてのことをやって、ドキドキワクワクすればよいと言っていたので、なにかに取り組んでみようと思いました。

「失敗した自分・逃げた自分・諦めた自分を責めたり、へこまないようにする。」なぜなら、その時は、成長しているから。初めに言っていた「思うは招く」正直、成功者の綺麗事だと思っていましたが、植松さんの話を聞いたら、「たった少し考え方を变える」だけで、自分の将来までもが変わってくるということを知れて、とてもためになり、また、面白い!!と思いました。

感想文02

私は、植松さんのスピーチにとても心を打たれたと同時に、共感する部分が自分の身の周りにもたくさん起こっていると感じました。

幼少期、無邪気に自然と触れ合い、ムシを捕まえたり、いろいろなことにチャレンジしてみたり、…「世界では、こんなことが将来起こるのかな?」「未来にドラえもんはいるのかな?」と、期待に胸を膨らませていたことを思い出しました。でも、いつしか大人や、ある意味、教育というものを通じて、「現実」のマイナスの部分だけを突き付けられ、「夢」を見ることを、狭められていたのかもしれない。勇気を振り絞って「こんなことをしてみたい!」と言うと、「それをするためには、物凄く勉強する必要があるね、たいへんだよ、止めた方がいいよ」と大人たちは言います。私も、知らず知らずのうちに諦めたり、「自分なんて」と思っていたのかもしれない、また、現在もそうかもしれない。自分の人生を決める大きな決断が、もうすぐ側にあります。大学受験です。

今現状の自分の成績に見合ったところばかり意識して、可能性を狭めている自分が、つい最近までいました。でも、変えてくれたんです。私は、4月、ある先生とお話をして、今まで自分の中で引っかかっていたものが、不思議なことに「スッ」と取れたような気がしました。その引っかかりは、植松さんの言う「自分なんて」が知らぬ間に、自分の心の中にあっただけ発生してしまっていたのだと思いました。

現在、自分の目の前で起こっているすべてのこと、例えば「ある人と出会って目標が決まった」とか、もっと身近なことと言えば、私たちがいつも当たり前のように思う、「友達との出会い」、すべてが「偶然」ではなく「必然」だと私は思います。迷うこともたくさんあるし、なにが正解で、なにが不正解なのか分からなかったり、今現在必死になって頑張っている勉強も終わりが見えなかったり…。そういう不安や葛藤から自分を責めて、逃げてしまうこともあるかもしれない。でも、一歩立ち止まって考えて、自分の目標を見失わないように、「どーせ無理」じゃなくて、「私ならできる!」と自信を持って、未来の希望や夢に向かって頑張れる人になりたい!と思うようになりました。

勉強は終わりがなくものであり、誰かに言われてやることでもありません。ましてや、点数化の結果だけを見たり、誰かに褒めてもらうためにやることでもありません。「面白い!」からやるんです。知らなかったことを一日一個ずつだとしても、知識として蓄えていく。そして、素晴らしい知恵を皆で共有していく。昔の人が残してくれた「歴史」だったり、「数学」だったり、いろいろなことを学んでいく。そうすることで、私たちは成長して生きていくのだと思います。

だから私は、現在を一生懸命生きます!ワクワクすることや、難しいことにどんどんチャレンジして行って、将来「他人の未来に寄り添える」人になりたいです。

感想文03

僕が植松さんのスピーチを聞いて、一番強く感じたことは、「人間にはいろいろな可能性があって、無限の手段がある」ということです。

植松さんは、小さなころから大人になった今現在も、信念を貫き、自分の心に素直に、また貪欲に色々なことに挑戦し、失敗と成功を繰り返したからこそ、いまの進む道が明確になったのだろうと思いました。自分と比べたら、自らの考えを行動に移す行動力がケタ違いだと感じました。私はたとえ行動に移しても、今何のためにやっているのか？という疑問を抱かずに、なるがなるまま生きたところがあったと思います。植松さんは誰に信じてもらえなくとも、行動に意味を求め続けることによって、将来に繋げることができたんだと思います。歴史的な偉人を例に挙げて考えてみても、ものをゼロから作り出した人がいるように、今この世の中で、できないことを追求していく作業が「夢」だと、教えられた思いがしました。それでも、何度も失敗を繰り返して、はじめて、成功が生まれるのだと思います。

自分はこれまで、挑戦をしてこなかったから、失敗することもなく、成功もないんだと改めて実感させられました。勉強は、過去の知識を活かして、新しい知識を生み出すためだと、そして、立ち止まらず進んでいく（進化し続ける）ことが必要だと感じました。「どーせ、無理」という言葉は、世の中にたくさん溢れています。自分の中でも、努力を否定しがちで、ポジティブを捨ててしまっていたところがあったかもしれません。

植松さんのスピーチから、何事も挑戦し、失敗し、めげずに立ち上がることが大事で、それでも助け合って成功に近づく繰り返しの行程が、人生なのかなと考えるようになりました。

感想文04

私は、中学1年生の時に、1度植松さんの所に行ってお話を聞いたことがあります。それなので、「思うは招く」の話を聴くのは2回目でした。しかし、何度聞いても凄く考えさせられるいい話だと思いました。

まず、植松さんの考え方がとても好きで、「やったこともない大人たちに、自分の考えを否定されてしまうのはおかしい。やってみなくちゃわからない。」というところが特にいいと思い、自分は周りの考えにフラフラついて行ってしまふことが多くて、まったく自分で決めたりしなかったり、もし何か決めたとしても、周りの人に否定されたらすぐにやめてしまったりしていたので、自分が考え直さないといけないところだなと改めて感じました。

植松さんが、たくさんの人に多くの素晴らしい話ができるのも、過去の辛い経験があったからだだと思います。でも、その出来事を、ただのつらかった過去で、まとめて終わらせてしまうのではなく、これからの人生に前向きにつなげて、しかも、それを沢山のの人に講演会やテレビ、YOUTUBEを通じて発信している行動力も凄いと思いました。

すぐに行動を変えたり、考え方を換えたりするのは、難しいかもしれないけど、「どーせ無理」など否定的な言葉を自分にも周りの人にも使わないようにするとか、少しずつでもいい方向に考え方を換えられたらいいと思いました。改めて、気持ちを切り替えるいいきっかけになりました。ありがとうございました。

再生回数450万回突破！！
植松さんのスピーチはこちらどうぞ、
TED札幌2014

<https://tedxsapporo.com/talk/hope-invites/>

Hope invites | Tsutomu Uematsu | TEDxSapporo

<https://www.youtube.com/watch?v=gBumdOWWMhY>

TED^x Sapporo
x = independently organized TED event



「夢はいくつあっても」

滝川高で植松電機社長が講話 特別講演会



▲代表取締役社長
があればなんでもで

【滝川】スーパーサイエンスハイスクール（SSH）指定校の滝川高（鎌田到校長）は9日、SSH特別講演会を開き、講師に赤平市でロケットや医療機器開発などにも挑戦している植松電機社長の植松努さんを招いた。植松さんは「夢は好きなことやってみよう。いいし、仕事は人の役に立つこと」と考える

と、人生が変わると思いませんか」などと呼びかけた。写真。生徒たちに夢や目標へ向かう気持ちを高めてもらおうと企画した特別講演。植松さんは「思うは招く夢があれば何でもできる」と題し、生い立ちやロケット開発の経緯、児童虐待を無くしたいという思いなどを講演した。

夢を持つにあたり、「なぜやりたいかを考えてほしい」と呼びかけた植松さん。「夢と仕事は別のもの。例えば、人の命を救いたいと思ったら、お医者さんでなくとも別な形で夢をかなえることもできる。会社では医療機器を開発した。僕はお医者さんになれなかったけど、お医者さんを助けることができる」と語り続けた。

生徒からは「夢はどうしたら増えるのか」という質問があり、植松さんは「いろいろなものを見て『すごい』と

思えること、やってみたい気持ちにブレーキをかけないことが大切」「たくさん夢があると、多くの人と出会うことができ、出会った人たちが絡み合っ

【丸岡宣久】



令和2年度 S S H特別講演会 実施要項

1 目 的

- (1) 夢や目標にむかう気持ちを高める。
- (2) 自身の可能性を信じ夢や目標を互いに応援し励まし合える集団を育てる。
- (3) 「どうぞ無理」とあきらめるのではなく「だったらこうしてみたら」と前向きに行動する態度を養う。

2 日 時 令和2年6月13日（土） 2～4時間目

3 対 象 3学年

4 場 所 滝川高等学校 体育館

5 演 題 「思うは招く ～ 夢があれば何でもできる ～」

6 講 師 株式会社 植松電機 代表取締役 植松 努 氏

7 当日の予定

9：35～ 9：50	体育館へ移動（各自椅子を持参）
9：55	講師入場
10：00～	諸注意 開会
10：05～10：10	学校長挨拶・講師紹介
10：10～11：40	講演
11：40～11：50	質疑応答
11：50～12：00	生徒代表挨拶
12：00～12：10	教室へ移動
12：10～12：25	アンケートと感想記入